

<p>学 校 教 育 目 標</p>	<p>「自立・貢献・信頼」 (1) 自ら学ぶ生徒 (2) 思いやりのある生徒 (3) 健康に努める生徒</p>	<p>学 年 教 育 目 標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に学習に取り組み、進路を見すえた学力を身につけよう。 ・集団の一員として、周囲のことを考え行動しよう。 ・最高学年としての自覚を持ち、強い意志で自己実現を目指そう。
<p>学 校 経 営 方 針 と 重 点 目 標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校教育目標の実現に向けて、組織的・協働的な教育活動を実践する。 2 教職員一人ひとりの持ち味を生かし、活力ある学校づくりを行う。 3 教育の専門職としての使命感を持ち、授業に情熱を注ぐ教員を育成する。 4 保護者・地域に学校を開き、協力が得られる信頼される学校づくりを行う。 5 施設設備を効果的に活用し、安全安心で美しく潤いある学校づくりを行う。 <p>重点目標</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)創意工夫を活かした特色ある教育課程の編成と実施 (2)学習指導の充実と学力の向上 (3)学年・学級経営と生徒指導・教育相談の充実 (4)道徳教育・人権教育の充実 (5)体力の向上と体育活動の充実 (6)進路指導・キャリア教育の充実 (7)特別支援教育の充実と配慮を要する生徒の支援 (8)校内研修（(7) 特別支援教育）の充実 (9)安全安心で潤いある教育 (10)学校・家庭・地域が一体となった教育活動の実施 (11)教育公務員として自覚を持った教職員集団の醸成 	<p>学 年 経 営 方 針</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒の立場に立って、学年目標の具現化に努める。 <ul style="list-style-type: none"> ・学力の向上 ・集団の中での思いやる心の育成 ・自分自身で判断し行動する自律心の育成 ②生徒一人一人に目を向けた指導を。 <ul style="list-style-type: none"> ・休み時間や空き時間の見回りなどで問題の早期発見、指導をしていく。また、そのことが生徒と接する時間を大切にしていくことにもなる。 ③分掌担当の意識を高め、仕事をしていく。 <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの担当者が早めに案を出し、それを基に指導していく。 ④学年教員の共通理解に基づいた指導・行動を。 <ul style="list-style-type: none"> ・決まったことを皆でやっていく、指導していくことが教育の成果につながるものであり、教員の指導の違うことが教師不信にもつながる。 ⑤報告・連絡・相談「ほうれんそう」を大切に。 <ul style="list-style-type: none"> ・何か起こった時に、すぐに報告・連絡・相談をしていく。 ⑥委員会やクラスの中でリーダーを育てる指導を。 <ul style="list-style-type: none"> ・活動の中で責任を持たせ、リーダーを育てる。 ⑦ひとりひとりの自己実現のための進路指導を。 <ul style="list-style-type: none"> ・個人の目標を決めさせ、そのために必要な具体的な進路指導をしていく。 ・生徒の主体的な進路選択の支援をしていくという方向性で指導していく。
<p>学 習 指 導</p>	<p>たいへん意欲的に学習に取り組もうとしている生徒は多いが、その半面、学習習慣が定着していないことにより、なかなか理解が深まらない生徒が見られる。進路決定のためにも、計画的な学習習慣を定着させ、更なる学力の向上を図っていく。</p>	<p>生 徒 指 導</p>	<p>学年教員が共通理解し、共に同じ指導をしていくことにより、生徒の不信感を招く指導はしない。また、規律を重視することにより、積極的な生徒指導を図る。そして、問題行動の早期発見、早期解決をめざす。</p>
<p>道 徳 指 導</p>	<p>思春期という感情のコントロールが難しい時期であるがゆえに、自律心を身につけさせたい。 また、集団の中の一員として何をすべきかを考え、他者との関わりの中で思いやりの心で行動できるよう指導していく。</p>	<p>進 路 指 導</p>	<p>自分自身の将来の職業を考えていく上で、高校受験のみにとらわれず、中学校卒業後の進路先にどのような進路があるのかということを知り、具体的な自身の進路決定に向けて考えを深められるよう指導していく。</p>
<p>特 活 指 導</p>	<p>いろいろな行事、委員会活動や係活動を通して、集団の中の一員として、それぞれの人が、やるべきこと、協力すべきことを考える力を育む。そのことにより、多くの集団のリーダーを育てたい。また、最高学年として、下級生の見本となる責任ある行動ができるように指導していく。</p>	<p>家 庭 と の 連 携</p>	<p>学校・学級での活動が各家庭にわかるように「学年だより」「学級通信」などを通して理解を深める。日ごろから保護者との連絡を密にし、生徒の変化や行動を気にかけて対応していく。</p>